

授業科目名	【G】	情報法Ⅰ	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【EF】	情報法Ⅰ	その他参照		【EF】3		【EF】2
科目区分	専門科目:【G】教科及び教科の指導法に関する科目(---・情報)／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目(---・情報)						
授業形態	対面授業						
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(---・情報選択)科目					
		【EF】 教員の免許状取得のための(---・情報選択)科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等		教科に関する専門的事項:「情報社会・情報倫理」(高一種免情報)					
サブタイトル	情報の刑法的保護			担当者	青木 陽介		
授業概要	【概要】	本講義では、「情報法」と呼ばれる領域のうち、特に、刑事法に関連する部分を扱う。					
	【到達目標】	情報に対する侵害につき、刑法上いかなる保護があり得るのか、また、情報化社会において登場することとなった犯罪としてどのようなものがあるのか、について基本的な理解を身につける。その際、それらが刑法の基本原則・原則といかなる関係に立つのかを理解し、刑法総論や刑法各論で学習したことを応用できるようになることも目標とする。					
履修条件	特になし。ただし、下記「他科目との関連性」に留意すること。						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)					
他科目との関連性	刑法総論Ⅰ・Ⅱ、刑法各論Ⅰ・Ⅱ(いずれも担当教員は問わない。)を履修済み又は併行して履修中であることが望ましい。						
教科書	なし(※ 本講義の内容の全体をカバーしている教材はないので、授業にてレジュメ・資料を配布する)						
参考書	松井茂樹＝鈴木秀美＝山口いつ子編『インターネット法』(有斐閣、2016) 渡邊卓也『ネットワーク犯罪と刑法理論』(成文堂、2018) 園田寿『情報社会と刑法』(成文堂、2011)						
評価方法	学習到達度確認試験(85%)および毎回の授業における小課題(15%)により評価する。						
フィードバック方法	配布したレジュメ上の空欄箇所を埋める等の小課題を毎回出題する。課題はclassroomにて提出してもらい、それを添削した上で返却する。また、学習到達度確認試験についても、模範解答を示す等の形でフィードバックを行う。						
評価基準	上記授業単元の内容につき、問題の所在や判例・学説の状況をよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。授業内容についての理解度や表現内容に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、授業内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とします。なお、試験を欠席した場合、評価不能のため「F」とする。						
その他	講義では適宜条文を参照するので、最新の六法(出版社は問わない)を必ず持参すること。 なお、私語等の授業を妨害する行為を行う学生に対して、退室を命じることがある。 ※Gカリ:法【選択必修(S)】スポ【選択必修(S)】情【選択必修(F)】／EFカリ:選択						

授業科目名	【G】	情報法 I	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【EF】	情報法 I	その他参照		【EF】3		【EF】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス — 刑法典において情報はどのように扱われているのか—						
	予習:	刑法典で「情報」が保護される場合について調べる。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
2	インターネット上の中傷と侮辱罪の成否(テラスハウス事件を題材に)						
	予習:	侮辱罪の成立要件について調べる。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
3	インターネット上の言論と名誉毀損罪の成否						
	予習:	参考書①の該当箇所(64頁以下)を読む。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
4	国家機密の漏洩と犯罪の成否						
	予習:	外務省機密漏洩事件の概要について調べる。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
5	情報の不正入手と犯罪(財産犯、不正競争防止法)の成否						
	予習:	参考書①の該当箇所(237頁以下)を読む。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
6	コンピュータ犯罪(1): 昭和62(1987)年の刑法一部改正について						
	予習:	昭和62(1987)年に新設された犯罪について調べる。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
7	自動改札機を悪用したキセル乗車と犯罪の成否						
	予習:	参考書②の該当箇所(159頁以下)を読む。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
8	コンピュータ犯罪(2): 平成23(2011)年の刑法一部改正について						
	予習:	平成23(2011)年に新設された犯罪について調べる。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
9	不正アクセスに対する規制について						
	予習:	参考書②の該当箇所(213頁以下)を読む。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
10	サイバー犯罪条約および児童ポルノ処罰法						
	予習:	参考書③の該当箇所(136頁以下)を読む。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
11	盗撮画像の規制について、いわゆるリベンジポルノ 防止法について						
	予習:	参考書②の該当箇所(139頁以下)を読む。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
12	著作権の侵害(違法アップロード・ダウンロード、リーチサイト規制、ファイル共有ソフトの開発・提供)と犯罪の成否						
	予習:	参考書③の該当箇所(42頁以下)を読む。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
13	プロバイダーの刑事責任						
	予習:	参考書①の該当箇所(301頁以下)を読む。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
14	インターネット犯罪と刑法の場所的適用						
	予習:	刑法の場所的適用について調べる。(90分)		復習:	講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)		
15	学習到達度確認試験及びその解説						
	予習:	配布資料やノードの確認。(120分)		復習:	試験問題で分からなかった箇所を、模範解答で確認する。(60分)		

科目コード B511-2-X